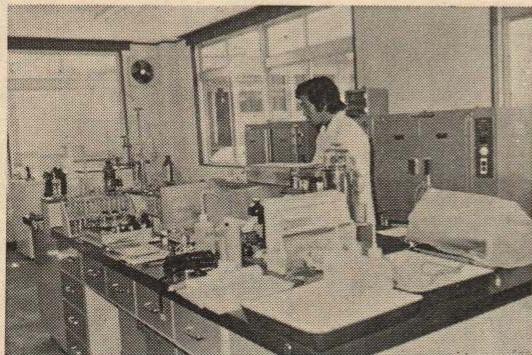
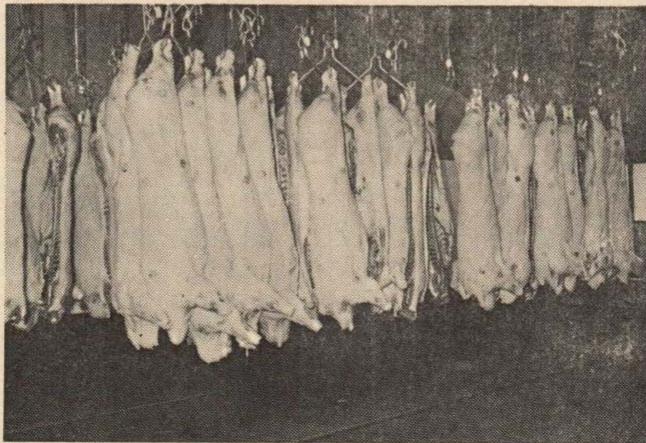


食肉センター 快調なスタート

3月25日に食肉センターがオープンして以来、近代施設の備ったもとで操業は順調におこなわれております。

市民のみなさんに「清潔でおいしい肉の供給」をモットーに、1日平均、豚50頭、牛0・7頭、馬0・6頭を処理しておりますが、と殺処理に慣れるに従い、6月からは、市民の需要に対応できるように処理頭数も増やしていくことにしています。

衛生管理面では、食用肉の安全には万全な検査のうえ処理しております。電殺器処理から枝肉になるまではオートメーション式で処理する一方、安全衛生を保つため、豚換算で115頭を収容できる冷蔵庫にいったん保管するなど、市民の食生活向上を願いながら操業しているところです。



(写真)

精密切査室(左)と懸肉状況(上)

「交通災害共済」へ 加入しましょう

交通災害共済への加入者を受付しております。

◆掛金

ひとり	300円
小・中学生	250円
75才以上の方	無料

◆申込み方法

環境保護課または出張所、支所に申込書がありますので、この申込書に掛金を添えて申込んでください。

政府資金の ご利用を

4月1日から国民金融公庫の貸付限度額がつぎのように改正になりました。

中小企業者の皆さんのご利用をおすすめします。

記	
一般貸付	1,000万円まで
経営改善貸付	200万円まで
食品貸付	1,800万円まで
安全貸付	1,800万円まで
公害貸付	1,800万円まで
(一般貸付	1,800万円まで
環衛貸付、防火貸付	300万円まで
(汚水処理貸付	300万円まで
(国民金融公庫大館支店)	

国保と交通事故

◆国保で治療を受けられる

病気やけがをしたとき、治療費がかかるすぎて生活に困ってしまうことのないよう目的でできたのが医療保険制度です。

交通事故でけがをした場合には、賠償問題の解決が長びることが多く、この間の治療費の金額を自費でまかなうとなると生活そのものが危機に直面することになりかねません。このようなときは、交通事故によるけがや病気でも医療保険を受けられます。

■治療費は国保で一時たてかえるだけ
医療保険を受けられることは、被害者の生活困りを救うため、治療費を国保で一時たてかえておくというこ

国保情報

No. 6

とです。そして、国保でたてかえた治療費はあとで加害者から返してもらうことになります。

■保険診療には許可が必要です

国保で診療を受けるときは、市役所の許可を受けなければなりません。届出用紙は厚生課国保係にあります。この届けは国保でたてかえた治療費を加害者から返してもらうための大切な資料となります。

■交通事故についての相談は

最近、悪質な示談屋が横行しております。これらの示談屋は自分のもうけのためにやるために、保険金をだまし取られた例も多いので警察の困りごと相談所、法務局の法律相談所や市役所の交通事故相談所など信用のあるところに相談するようになります。

山火事にご注意!!

雪消えとともに山菜とりのシーズンに入りますが、この時期は毎年、入山者のタバコの不始末による山火事が多発しています。

- ・野山、畑には火を入れない
- ・子どもには絶対マッチを持たせない

など、山火事防止にご協力ください。
山火事を発見したら下記の所に連絡ください。

消防署 電話 119

<統一標語>

「また来ると山に誓って火の始末」

全国交通安全運動

—5月12日～21日—

<市民総ぐみで運動を盛りあげよう>

<運転者>

- ・いつも安全速度、制限速度を守る
- ・無理な追越しは絶対やめる

<自転車乗り>

- ・酒を飲んで乗らない
- ・右左折は早目に合図をしよう

<歩行者>

- ・子どもの「飛び出し」事故がふえています。「車は急に止まない」とをくり返し教えよう。
- ・車の直前・直後の横断はやめよう

保健婦の窓

ふとった人・糖尿病の

ある人の食事

ふとった人、特に糖尿病の人の治療は以前、食事療法による糖分の制限に重点がおかれています。

酒類もビールや日本酒よりも、ウイスキーのほうが適しているといわれてましたが、これは過去のことです。今日ではふとった人、糖尿病のある人の治療としては、一日の必要エネルギーを制限することがもっとも重要です。

酒類も糖分の有無にかかわらず、食事の一部としてカロリーを基準に当日の献立計算にいれる必要があります。

酒類のカロリーを中心と考えると

ごはん1杯で160カロリーですから、それに比較すると

清酒(2級) 1合で160カロリー

ウイスキー 70ccで160 "

ビール 430ccで160 "

になりますので、ビール1本飲んだらごはんは、1杯減らすようにすることです。

「税の知識」

<税金はみんなのため>

国や地方公共団体は、私たち国民の幸福と繁栄のために幅広い活動を行っています。税金は、このような活動の大重要な財源となり、私たちの生活の向上と安定のために使われています。私たちが、この社会で共同生活をしていく場合、個人の力、民間の自由に任せておいたのではなく、うまくいかない部分を受け持つのが国や地方公共団体の役割です。

その活動を支えているのが私たちの納める税金です。(大館税務署)